

授業科目 リハビリテーション概論

【担当教員名】 崎村陽子、高橋榮明、栢森良二、工藤由里、 櫻井浩治、山田幸男、相場恵美子、荻荘則幸	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要及び学習目標】
この講義では、リハビリテーション医学の基本概念とその意味を概説する。そのために、リハビリテーション医学で行う一般的な検査や評価法、および対象となる主な疾患・障害について概説する。リハビリテーションの理念とそれを実際に行う上で必要な方法について理解することを目標とする。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1	リハビリテーションとは何か	リハビリテーション医学の歴史と定義・障害・関わる職種とその役割	講義
2	障害の評価	障害の理解と評価方法	講義
3	臨床検査	リハビリテーション治療上用いられる検査について	講義
4	リハビリテーション治療	治療の概略	講義
5	発達障害と知的障害	人間発達について・知的障害・重症心身障害のリハビリテーション	講義
6	精神障害のリハビリテーション	リハビリテーションの実際・問題点・障害者の心理的問題	講義
7	視覚障害のリハビリテーション	視覚障害の問題点・中途失明のリハビリテーション	講義
8	音声・言語・咀嚼機能障害	障害の概略・問題点・対応について	講義
9	職業リハビリテーション	定義と歴史・関係法規・雇用問題・社会資源	講義
10	地域リハビリテーション	在宅医療・介護・地域保険福祉活動	講義
11	福祉機器	福祉機器の紹介・支給制度について	講義
12	症例呈示	脳血管障害症例の紹介・評価	講義
13	聴覚障害のリハビリテーション	聴覚障害の概略・問題点・対応について	講義
14	症例呈示	脊髄疾患症例の紹介・評価	講義

【評価方法】
出席状況と定期試験から評価する

【履修上の留意点】
特になし

【使用図書】

教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	リハビリテーション医学テキスト	三上真弘他	南江堂	2000年 5300円